

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	教育と人間				
担 当 者	光成 研一郎				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.5	4.0	4.2	4.1	4.1	
学生へのメッセージ					
昨年度と比較して、授業評価のポイントは下がったが、平均 4.1 ポイントなので、記述欄からも概ね高評価と受け止めている。授業内容、授業方法は昨年度を踏襲した形だが、平均 0.6 ポイント評価が下がった。その理由は明確ではないが、学生の声としては、「学生と教員が楽しく意見交換ができた。」「現場の先生の実践的な話が聞けて良かった。」などの好意的な意見が多かった。来年度も同様の内容での実施を考えている。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育		学 年	1	
科 目 名	まなぶる➤ときわびとⅠ				
担 当 者	光成 研一郎				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.7	4.3	4.4	4.4	4.4	
学生へのメッセージ					
昨年度より授業評価のポイントが 0.1 ポイント下がったが、平均 4.4 ポイントの評価であったので概ね高評価を得たと受け止めている。 学生の声としては、 ・「将来、職に就いたときに役 立つスキルを分かりやすく説 明して下さり、有難かった。意 見の問いかけなどを積極的 にして、発表する機会が 増えて、個人的に良かったと 思う。(E 科)」 ・「今後や、社会に出たら必ず 必要になるチームベースド ラーニングについて、深く、十 分に学ぶことができた。これは、これからの生きていく中で とても大きな力だと思う。(M 科)」 ・「時間の余裕をもっと作るべきだと思います。(M 科、N 科)」 ・「グループでの行動の取り方や考え方、論理的思考や批 判的な視点から物事をみる大 切さを考えることができました。(N 科)」 ・「マナブルでは、日頃学ばないレポートの書き方やディ ベートなどを行えたので、 様々なことが身についたと思 います。受けれてよかったで す (O 科)」 ・「他学科の人と接点を持つこ とができた点、最初の自分の グループの人を探す活動に よってほかの授業よりもグ ループ内での仲間意識が高 まった点がよかったと思う。(R 科)」などが記述されていた。 改善点としては、上記したように「時間的余裕がなかった」という意見があった。個々のグループやクラスの状況を鑑み、次年度以降も改善を図っていきたいと思います。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ A				
担 当 者	上原弘美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.8	5.0	4.9	4.8	5.0	
学生へのメッセージ					
1 年生前期科目とした開講したこの科目には、8 名に受講をしてもらいました。「口腔の健康」と「身体 の健康」に興味を持っていたいただきたく、講義や実習、また学生さんによるプレゼンテーションなど楽しく授業をおこないました。 積極的な姿勢で受講してもらい、授業評価の 4 項目ともに、5 点満点またはそれに近い評価をいただきました。この講義を受講して、知らなかったことを知る喜びや自身の健康に向き合う姿勢など、医療人としての基本的な態度を身に付けてもらえたのなら嬉しいです。 これからの学生生活においても、何事にも能動的に学習を積み重ねていってください。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1, 2, 3		
科 目 名	コミュニケーション論				
担 当 者	谷口英明				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.4	4.6	4.6	4.5	4.7	
学生へのメッセージ					
200 名あまりの受講生から様々なメッセージをいただきました。 楽しかった、授業が楽しみだった、対人コミュニケーションとしてとても重要なことを学べたなど高い評価をいただき感謝します。 コミュニケーションスキルは実践しないと向上しません。 今後の学生生活や社会に出ても役にたつように、どうか実践してってください。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1, 2, 3, 4		
科 目 名	芸術文化論				
担 当 者	谷口英明				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.4	4.4	4.6	4.5	4.6	
学生へのメッセージ					
毎回、様々な分野で活躍されている方々の講義を聴くユニークな基盤科目です。 「生き方の参考になった」「人生観が変わった」などと感想をいただきました。 姉に勧められて履修したという学生もいました。友人にもぜひ、勧めて頂けたら幸いです。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ A				
担 当 者	稿本好市				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.6	5.0	4.9	5.0	5.0	
学生へのメッセージ					
好評価をいただきましたこと、お礼申し上げます。今後も学生にとって利益となる講義内容に すべく工夫に努めていきます。受講ありがとうございました。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	英語コミュニケーションⅠ				
担 当 者	山崎麻由美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.8	4.3	4.3	4.3	4.3	
学生へのメッセージ					
今年は全体の 3 分の 1 以上の人が授業以外の学習に 1 時間以上かけて勉強していました。2 時間以上かけたという人も 20 人近くいました。また 30 分以上勉強した人と併せるとほぼ 80% になり、多くの人が真面目に授業や課題に取り組んだことが分かります。毎回出題されたマナバの課題も、概ね遅れることなく提出できました。課題自体はさほど難しいものではなかったと思いますが、学習の習慣をつけてほしいという意図で出題されたものでした。また、授業外で読書レポートを提出する課題もありました。これは、自分のレベルにあったもの選び、自分のペースで仕上げるというねらいもありました。ほとんどの人はしっかりと読めて、内容をまとめ、期限内に提出することが出来ていました。その本の面白さを上手に伝えることができるレポートだったと思います。感想の内容はそれぞれの個性が出ていて興味深く読ませてもらいました。感想の中には「英語の本を初めて読み通した達成感があった」というものも複数あり、成果があったことがうかがえました。 また授業のまとめを兼ねた英語のグループプレゼンテーションは素晴らしかったです。スライドの完成度も高く、英語の読み方も申し分なかったです。グループ間で差がついたとすれば、それは個人の力の差ではなく、グループでいかに力を合わせてかの差だったと思います。個人作業を寄せ集めただけのプレゼンテーションは、内容やスライドが均一ではなく、見ていてすぐにわかりました。しっかりと話し合いのできていたグループのプレゼンテーションは流れも自然でとても聞きやすく興味を持つことができました。これからも様々なグループワークがあると思いますが、今回のことを参考にしてもらえればと思います。 英語が得意な人も苦手な人もいますが、今年度の皆さんはよく努力をしていたと思います。英語の学習はどのようなものを使ってでもできます。時間が自分のために十分に使える学生時代に、自分に合う方法で英語に是非取り組んでほしいです。医療現場では英語が必要な場面が多いことと思います。これからも自分で積極的に学んでくれることを願っています。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ				
担 当 者	堀理江				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.9	4.6	4.6	4.6	4.6	
学生へのメッセージ					
1 年生前期の科目でしたので、学ぶことが楽しいと思えること、自身が調べたことを人に伝える手法を身に付けることを目標にゼミを組み立てました。他学科の様子も分かり、皆さんがどんなことに興味をもっているのかを知れて楽しいゼミでした。出席状況も良く、真面目に課題に取り組む姿勢が印象的でした。将来就く職業は違いますが、何らかの病をもった人を対象にすることは同じですので、患者さまの生の声を聴いていただき、そこから学びを深めてくれたことを嬉しく思います。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1, 2, 3, 4		
科 目 名	安全学				
担 当 者	伴仲謙欣				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.6	4.6	4.6	4.5	4.6	
学生へのメッセージ					
履修生のみなさん、授業お疲れ様でした。そして、授業評価に回答してくれたみなさん、ご協力ありがとうございました。大きな災害が頻発する近年において、各人が防災を考えることは当たり前のことになってきています。今年も新年早々に北陸で痛ましい災害が発生してしまいました。水害の被害も年々大きくなってきています。いま、自分の身に同じことが起こったらどうしますか？この授業で知ったことが役に立ちますか？ 特に、専門職を目指すみなさんには、一人の市民としてだけでなく、「職業人」としての防災や安全についての知識や意識が求められます。それは言い換えると、有事の際には「自分だけではなく自分以外の誰かを守る」という職業的責任、あるいは職業倫理を持たなくてはならないということです。そのことについても、今後考えるきっかけになると嬉しいと思っています。 一方で、この授業は外部の先生が中心となるオムニバス形式です。そのため、どうしても授業の進行がイレギュラーになり、みなさんにとっては不便があったことと思います。しかし、その中でも粛々と欠席なくがんばり通した人は、プラスの評価をしました。この授業の様々な経験が、将来のみなさんのプロフェッショナルリズムや今後の学び方につながることを期待しています。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ A				
担 当 者	木村 英理				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.7	4.8	4.9	4.8	4.9	
学生へのメッセージ					
私が担当する大学道場 mini ゼミ A では「心の世界を科学する」をテーマに、実際の医療現場で用いられている心理検査や心理学部で用いられている心理実験材料を使用し、様々な現象を科学してみました。心理学で扱う範囲は多岐にわたるため、今回は、人格心理学、認知心理学を中心に行いました。高校を卒業して大学生になった時期に、自分のパーソナリティや特性というものをデータとして知ること、そして、周りにはいろんな特性の人がいるということを知ってもらいきっかけになったのではないのでしょうか。 心理学はみなさんの身近にある学問です。今回のゼミでちょっとでも興味を持ってもらえたらうれしいです。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	健康スポーツ科学Ⅱ				
担 当 者	近藤みづき・山下耕平				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.8	4.7	4.6	4.7	4.8	
学生へのメッセージ					
アンケートへの回答ありがとうございました。授業評価の結果や記述内容をみると、皆さんが満足する授業が展開できたと感じています。これは、皆さんが積極的に授業に参加してくださったからだと考えています。 この授業は、「健康スポーツ科学Ⅰ」と結びついた知識と共に、各自の体力を把握し、身体活動を実施することで起こるからだの変化を理解することを目的としています。自由記述では「皆で楽しみながら授業が出来た点。普段話したことない人とも関われた点。体を動かして運動できたところ。」や「毎回のチェックシートや振り返りにより、自身の普段の運動量や歩数について考える機会が出来ました。その結果、普段の生活をより健康的にするための改善点を見つけることが出来ました。」また「実際にカロリーや歩数などが数字として見えるのでやりがいがあった」、「先生がよく見てくれていてアドバイスをくれる。」、「教員の話より動きたい」等の意見がありました。授業の目的が伝わっていることが理解でき嬉しく思いました。この授業で学んだことを今後、自らの生活に即して考え、自身の健康のために継続して実践されることを期待しています。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	健康スポーツ科学Ⅰ				
担 当 者	近藤みづき他				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.6	4.3	4.3	4.2	4.3	
学生へのメッセージ					
アンケートへの回答ありがとうございました。授業評価結果や記述内容をみると、ある程度皆さんが満足する授業が展開できたと感じています。特に、毎回教員が変わり、様々な知識が得られたことが良かったようです。皆さんにおいては、遠隔授業であっても、毎回のレポート提出を努力されていたと思います。 本授業はそれぞれの教員が専門分野をいかして健康にアプローチしていく授業内容で構成しています。自由記述から、「ユーチューブを使い、抽象的な言葉に対して詳しく説明していただいたため、分かりやすい授業で良かったと思いました。」や「健康について様々なことを知ることができた点が良かったです。」という意見がある一方で「担当する先生によっては、音量を最大にしないと声が聞こえないようなことがあった。」という意見もありました。動画の音声については確認します。 この授業で学んだ知識は、個々の毎日の生活改善に取り入れ、生涯にわたって健康的な生活が送れるようになることを期待しています。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1, 2, 3, 4		
科 目 名	現代社会と生命科学				
担 当 者	松元英理子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.8	4.3	4.3	4.2	4.3	
学生へのメッセージ					
お疲れさまでした。慣れない遠隔授業で苦労したのではないのでしょうか。 学科も学年も「多様性」のある皆さんでしたから、これまでの「生物」の学修状況によっては難しいと感じた方もおられたのではないかと思います。 現代は最先端の生命科学が皆さんの身近にあり、その科学技術を享受するかどうか、皆さん自身にゆだねられる場面が増えています。グループワークで扱ったゲノム編集食品もそうですね。こんな時代を生きる皆さんに、授業を通じて、「高校で学んだ生物学で、多くのニュースが理解できる」ということと「理解したうえで導き出す答えは、ひとそれぞれ違ってよい」ということを感じていただけたのなら、この授業の意義はあったと思います。 これからも、生命科学は目覚ましいスピードで発展し続け、解決すべき新しい課題が生まれてきます。そんなときは、生命科学の基礎に戻ってじっくり考えてみてください。 良かった点として「グループワークで自分以外の意見を聞くことができた」や「(遠隔授業を)聞くだけでなく問いかけもあった」などのコメントを頂きました。→遠隔授業は皆さんの反応が見えずライブ感も生まれないというデメリットがありますが、逆に資料をみたり、調べたりして、じっくり考えることもできたのではないのでしょうか。 改善点として「グループワークの提出方法がわかりにくい」「グループワークは対面の方が良い」というコメントをいただきました。→提出方法については、次年度に向けてわかりやすい説明方法を考えます。対面のグループワークについては、履修者数(140名)が多いため残念ながら遠隔で実施しています。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ				
担 当 者	新谷路子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.3	4.7	4.8	4.8	4.8	
学生へのメッセージ					
授業評価アンケートに回答して頂きありがとうございました。 今年から、テーマを『みんなで作るーからだの絵本』にかえて、共同制作を行いました。みんなでアイデアを出しながら楽しく作成し、見応えのある絵本が仕上がりました。それぞれの得意分野が光っていて素晴らしい出来栄だと思います。 “毎回、楽しく作成できた”、“絵をかきながら臓器の位置と機能が理解できた” 等の意見がありました。今後も“絵や図にする”という武器を持って、自分の理解を深め相手に伝える楽しさを感じていただけたら嬉しいです。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ A				
担 当 者	福田昌代				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.5	4.7	4.7	4.7	4.8	
学生へのメッセージ					
今年度は13名の先生方が担当され、144名の学生さんが受講されました。それぞれの先生方のテーマに沿って学習できたようで、皆さんが好成績で終えることができたようです。また、授業評価も高評価だったことから、充実した学びになったようで良かったです。 これから、各専門の学修が深くなっていきますが、今回学修したことを踏まえ、4年間頑張っ て、それぞれ目指す資格を取得していただけたらと思います。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場ミニゼミ A				
担 当 者	笹井隆邦				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.1	5.0	4.8	4.8	5.0	
学生へのメッセージ					
この授業によって、少しでも自然に興味を持てただけなら嬉しいです。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1, 2, 3, 4		
科 目 名	人類と地球環境				
担 当 者	笹井隆邦				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.5	4.6	4.6	4.5	4.7	
学生へのメッセージ					
この授業によって、自然環境に興味を持てただけなら嬉しいです。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	英語コミュニケーションⅠ				
担 当 者	脇本聡美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.0	4.5	4.5	4.4	4.4	
学生へのメッセージ					
この授業では「英語は使いながら学ぶ」ということを目指していました。おそらく、高校までは英語という科目は正しいスペル、文法、訳、というように正確でなければいけないという思いに縛られていたのではないのでしょうか。しかし、本来、私たちは使うために英語を学習しているはずです。ですから、みなさんには英語を使って学ぶ、情報を得る、表現するという経験をたくさんして、自信をつけていてもらいたいと思います。ことばは知的な道具です。暗記するだけでは使えるようにはなりません。使いながらでなければ上達することはありません。教材のニュースを理解することも、英語の発表もねらいは英語を使うことでした。 「行きたい海外の都市でしたいこと」をトピックにしたみなさんの英語発表は素晴らしかったです。毎週とても楽しませてもらいました。また、英語で文章を書くことが上手な学生さんがたくさんいたことにも感心しました。 これからも、英語を使うことを意識して、いろんなことにチャレンジしてほしいと思います。いつか調べて発表した都市を尋ねて、是非自分の目で見て来てください。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1, 2, 3, 4		
科 目 名	暮らしの中の物理学				
担 当 者	高久圭二				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.3	4.2	4.3	4.1	4.4	
学生へのメッセージ					
不思議な物理現象を体験してもらったコンセプトでしたが、百聞は一見に如かずで、体験してもらえて良かったと思います。 ①この授業でよかった点 ・座学だけでなく、実験があるのが良かった。実際に経験することで、興味や疑問が生まれた。また、難しい内容を生徒が理解できるように工夫して説明しようとしているのが良かった。 ②この授業で改善すべきだと思った点 なし					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ A				
担 当 者	高久圭二				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.6	4.3	4.5	4.4	4.6	
学生へのメッセージ					
放射線とどう付き合うかというテーマでしたが、実験や、調査、オリジナルの放射線の偏見を考えるための劇の作成など、多方面からのアプローチで、テーマについて学んでもらえたと思います。 ①この授業でよいと思った点 ・放射線についてより深く調べる機会があった。また福島スタディーツアーに参加することができた ②この授業で改善すべきだと思った点 なし					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1, 2, 3, 4		
科 目 名	日本通史				
担 当 者	片山正彦				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.4	4.1	4.2	4.1	4.2	
学生へのメッセージ					
サブタイトルを「畿内近国の中近世史」として、テーマをしぼりましたが、2000 年以上の歴史がある日本史をわずか 8 回の授業で講義するということもあり、こちらが伝えたいことを上手く皆さんに伝えられず、非常に申し訳なく思っております。またの機会があれば、神戸もしくは兵庫県という地域の歴史に密着した講義をして、受講者の皆さんに興味を持っていただけるような内容にしたいと思います。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	哲学と倫理				
担 当 者	中野康次郎				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.8	4.0	4.1	4.0	4.2	
学生へのメッセージ					
この「哲学と倫理」の授業では、受講者の皆さんに「自分の頭で考える」という作業をしてもらいました。 毎回提出してもらった感想の中には「難しい」という意見もありました。確かに簡単には答えが出ない問題もあります。しかし、「考える」ということは楽しい作業でもあります。その楽しさに気づいていただけたでしょうか？ 「哲学」の授業は終わりましたが、皆さんが今後とも考え続けて行かれることを期待しています。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1, 2, 3, 4		
科 目 名	現代社会と化学				
担 当 者	笠井亮				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.4	4.8	4.8	4.7	4.8	
学生へのメッセージ					
すべての学科のみなさんが履修対象者，しかも高校で化学・化学基礎を学ばれている方や数少ないですが履修されなかった方がおられる中での講義でした。特に現代社会の中で化学に興味を持っていただきたくて，実験を取り入れながらの講義形式にしましたが興味を持っていただきありがとうございました。これほど喜んでいただけたとは思ってもよりませんでした。ありがとうございました。これをきっかけに，ますます化学に興味を持っていただければと思います。そしてみなさんの専門にも生かさせていただければと思います。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1, 2, 3		
科 目 名	文学				
担 当 者	藪葉子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.6	4.2	3.8	4.2	4.3	
学生へのメッセージ					
古典に対する関心が、さまざまなことに対する関心のきっかけになれば良いと思い、授業をしていました。					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1, 2, 3, 4		
科 目 名	人類と農学				
担 当 者	大菅誠司				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.5	4.2	4.3	4.3	4.5	
学生へのメッセージ					
・この授業を受けて、少しでも植物・農業・環境に関心を持ってもらおうと思いました。 ・植物名をよく知ってもらうため、スライドを多数用意し実物をイメージできるようにしました。 ・植物名などを答えるクイズを毎回行いましたが、これをきっかけに植物に興味を持ってもらえたらうれしい。 ・PowerPoint の発表をしてもらいました。色々なテーマがあり全員で楽しく見られました。これからの仕事に生かしてください。 ・野菜や草花を育ててみたいと思うように少しはなりましたか。 ・毎回の食事で口に入るまでにたくさんの人の手がかかっているのがわかりましたか。 ・自分の専門以外の勉強も幅広くしておくことが大事です。たくさんの知識、情報を手に入れてください。 ・パソコン、スマホなどの世界になれていると思いますが、読書・手書きの世界も重要です。					